

広報 人と自然が織りなす 心豊かな協働の村

# たのはた

復興へのご支援に心から感謝します

## 巣立ちの春

3月12日に行われた田野畑中学校卒業式。46人の卒業生一人一人が佐々木幸彦校長から卒業証書を受け取った。(写真は佐々木未来さん。関連記事18ページ)

2013  
No. 553

4

# 翼

## 羽ばたけ 25の

田野畑小学校への入学を心待ちにしている新1年生。  
そんなみんなに、将来の夢を書いてもらいました。

「おおきくなったら  
なにになりたい?」



和山花月ちゃん (切牛)

はなや



鈴木汐音くん (尾肝斐)

汐音くん



武井 実郷くん (大音)

せいごうくん



本波 史也くん (島越)

プロ野球選手



北田 航太くん (北山)

クリーンショップ



藤島 叶多くん (沼袋)

サッカー選手



大澤 典佳ちゃん (倉津)

やくしおのいご



佐々木 優斗くん (甲地)

でんきうじきする



藤島 琉唯くん (甲地)

サッカー選手



関口 誠くん (田野畑)

けいさつ官



後藤 遥ちゃん (机)

ばてい



佐々木 杏菜ちゃん (倉津)

ぱんやさん



熊谷 奏斗くん (西和野)

やくしおのいご



熊谷 瑠玖くん (七滝)

サッカー選手



熊谷 新平くん (浜岩泉)

おんのう



三上 向葵ちゃん (北山)

フィギュアスケート選手



岡野 晴希くん (倉津)

スノボ



三上 焔陽くん (浜岩泉)

けいさつ官



木村 朔くん (猿山)

しょうぼうし



三浦 空知くん (島越)

サッカー選手



佐々木 紗良ちゃん (切牛)

けいさつ官



菊地 桐太朗くん (沼袋)

しょうぼうし



遠藤 壮真くん (西和野)

でんきうのうんてんしゅ



富山 心伶くん (田野畑)

おもちゃ屋さん



松頭 妃鞠ちゃん (北山)

けいさつ官

# 3.11

## あの日から2年

3月11日  
東日本大震災発生から2年  
350人が追悼式に参列し  
犠牲者の安らかな眠りを祈った

### 追悼のことば

本日は、このように盛大な追悼式を催していただきまして、誠にありがとうございます。遺族を代表いたしまして厚くお礼申し上げます。

あの大地震、大津波から2年の月日が過ぎました。

年がたつにつれて、震災のことは忘れ去られてしまうでしょうが、私たち遺族は、それぞれ父を、母を、そして夫を、妻を、子どもを、愛するかけがえのない者を突然奪われた悲しみと共に生きています。決して忘れることはできないでしょう。

私も祖父を亡くし、いまだに信じることはできません。避難していたのに、私が津波を見て気が付いたら祖父はいませんでした。優しい祖父でした。80歳過ぎまで漁師をやり、私たち家族に新鮮な魚をたくさんくれました。孫の中でも私が一番かわいがられ、わがままを言い、一番迷惑をかけました。そんな思い出を今でも思い出し、涙を流すときがあります。

そして、この津波を私は直接見て経験しました。このことは、後世に語り伝えなければなりません。

今、2年がたち、少しずつですけれども各地区復興に向けて頑張っています。もう元通りにはなりません、新しい地区再生に頑張りたいと思います。

私は高台に家を見て地区が変わりましたが、30年間お世話になった羅賀地区の復興に最大限に協力していきたいと思ひます。

そして、遺族の環境も確実に変わってきています。どうぞ、遺族を見守ってください。

最後に、東日本大震災で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、遺族代表のことばとさせていただきます。



村内外から約350人が参列し、東日本大震災の犠牲者に哀悼の意を表した



献花を行う参列者

3月11日、アズビー体育館で「田野畑村東日本大震災追悼式」を開催しました。大震災発生からちょうど2年のこの日、村内外から約350人が参列し、犠牲者に哀悼の意を表しました。

国が行う式典の国歌斉唱、黙とう、安倍内閣総理大臣の式辞、天皇陛下のおことばを映像中継した後、村追悼式を進行しました。

上机莞治村長は「2年がたち、徐々にはあるが復興へ向け動き出している。復興への道のりは険しく、そして厳しい戦いの道だが、これまで全力を挙げて取り組んできた。差し始めた復興の小さな光が、村全体に差す大きな復興の光になるよう粉骨砕身取り組んで行く」と式辞。未来に向けた復興に果敢に取り組み成し遂げることを誓いました。

遺族代表の追悼のことばなどの後は、参列者が祭壇に献花を行い、津波犠牲者の安らかな眠りを祈りました。

遺族代表

あきひろ  
田野畑 昭宏さん  
(31・田野畑)

## 響く復興の槌音

村全体が大きな不安に包まれたあの日から2年。日本全国、世界各地からの支援に支えられ、少しずつですがでも確実に、一步一步前に進んできました。村は1日も早い復興へ向け、復旧工事などを進めています。

### ← 高台移転先造成（記念林）

「記念林」「黒沢山」「松前沢」「白池峠」の4カ所で進めている造成工事。本年9月末までには造成工事を完了（松前沢は完了済み）。自力再建用地の分譲などを進めていく。災害公営住宅は、松前沢が8月上旬、その他の3団地は12月下旬の完成を目指し建設を進め、年内に入居が可能となるよう事業を進める。

### ↓ 高台移転先造成（白池峠）



### ↑ サケふ化場

明戸地区で工事が進むサケふ化場。震災前はキャンプ場だった場所に、本年秋の採卵などに間に合せようと建設中。現在は、ふ化室棟の屋根工事などを進めている。

### → 三陸鉄道

昨年9月から本格的な工事が始まった三陸鉄道の田野畑一小本間。島越は高さ9メートル、長さ400メートルの盛り土上に線路を敷設する。本年度は北側トンネル付近に駅舎整備も進める。

「もう2年」「まだ2年」…。時間の感じ方はそれぞれ違うかもしれませんが、でも、震災直後に発揮できた「支え合いの心」は私たちみんなで大切に持ち続けましょう。これから先もずっと、支え合って前に進みましょう。

島越地区

羅賀地区

明戸地区

机浜番屋群



【震災前】



【震災直後】



【震災から1年】



【震災から2年】

平成25年度施政方針

# 将来に希望の持てる 住みよい村づくりに向けて 躍進する年度へ

平成25年度第4回村議会定例会が3月8日に開会しました。村づくりの方向性や新年度の主要事業など、上机荒治村長が行った新年度の施政方針演述の内容をお伝えします。(16ページまで)

## はじめに

本日ここに、平成25年第4回田野畑村議会定例会の開催にあたり、25年度当初予算案や村政の重要案件のご審議をいただくため、所信の一端を申し上げます。

24年度は「東日本大震災田野畑村災害復興計画」に基づき、復興交付金事業費の確保に努めるとともに、関連事業の早期着手に全力を傾注したところです。

お陰様をもちまして、国をはじめ関係機関や村民のご理解とご支援、ご協力をいただき、漁港施設や道路の復旧・復興をはじめ、共同利用漁船の整備、三陸北縦貫道路工事の推進、観光宿泊施設改修に伴う営業再開など、本村の活力再興と定住促進に向けた一連の復旧・復興関連事業が着実に進捗したところです。

その中であって私は、被災者の方々の生活再建が最優先課題であるとの認識の下に、高台移転用地の確保と造成工事着手に最善を尽くしたところです。

— 施政方針目次 —

- はじめに ..... 8
- 未来に向けた復興
  - (1) 防災の地域づくり ..... 9
  - (2) 生活再建 ..... 10
  - (3) 地域振興 ..... 11
- 予算編成の方針 ..... 12
- 主要施策の展開
  - (1) 地域産業の振興 ..... 13
  - (2) 保健福祉の充実 ..... 14
  - (3) 社会資本の整備 ..... 14
  - (4) 教育の振興 ..... 15
- 結び ..... 16

その結果、昨年10月には住宅再建用地の造成工事起工式を執り行い、移転予定者や関係自治会の方々に對して、生活再建の根幹にかかわる居住に向けたスケジュールをお示したところです。

本村がこれまで国から認定を受けた復興交付金事業は、4回の申請に對して認定49事業、交付対象事業費で約220億円となっています。

25年度の行政運営は、未曾有の災害に對処するため、かつて経験のない事業数と予算規模です。将来にわたって振興発展する田野畑村の礎を築いていくために、村の総力を挙げてこの難局に對処していく考えです。

# 未

## 来に向けた復興

新年度は、「田野畑村総合計画」の基本理念や将来像を念頭に置きながらも、本村の喫緊の課題である震災復興に向けて引き続き、復興計画に盛り込んだ「防災の地域づくり」「生活再建」「地域振興」の三つの柱を復興の目指す姿と位置付けます。震災に見舞われる以前の活力を回復するだけでなく、復興を通じて、さらに魅力ある未来に向けた田野畑村の創造に努めてまいります。以下、本村の復興の目指す三つの柱について申し上げます。

### 未来復興 1 防災の地域づくり

「防災の地域づくり」は、とりもなおさず村民の安全を確保していくことです。

震災によって、これまで地域住民の日常生活と密接に関わり、憩いのスペースや地域コミュニティの醸成、地場産業の振興、観光客との交流など、村勢発展の基盤となっていた島越・羅賀・明戸・机地区などの貴重なエリアが被災しました。

高台への住宅再建用地造成は、津波によって二度と人命を失わないことを基本とした「防災の地域づくり」の象徴です。

一方、漁業従事者などの生業の場が沿岸域であることから、津波浸水エリアの活用方策は、土地所有者や地域にとって最大の関心事であり、防災や地域振興などの側面からも大変重要な課題です。

土地活用については、住民の安全確保と地域振興の観点から、先の大震災の教訓を生かして、「防災まちづくり計画」と「災害対応マニュアル」を策定し、避難誘導路や防災・減災機能施設を配置するとともに、漁業関係者や自治会、有識者などの意見を反映させながら、水産関連用

地の確保や地域コミュニティの向上に資する土地活用を図っていく考えです。

ハード整備としては、被災した羅賀地区消防防災センターの復旧整備や津波情報システムの整備を行うほか、海岸部の水門遠隔操作機能を有する防災まちづくり拠点施設として総合防災センターを村中央部に整備し、本村の防災力の向上を図るなど、防災訓練などのソフト啓発事業と組み合わせた多重防災型の地域づくりを推進してまいります。

防災の地域づくりの観点からの村

道などの整備については、田野畑平井賀線のほか北山崎線、明戸北山線、長嶺線の改良舗装工事、和野平井賀線の避難路整備、田野畑明戸線、長内沢線のかさ上げ工事、そして島越・羅賀地内の漁業集落道整備工事として海鳴台線など7路線に着手します。災害復旧に伴う漁港整備事業については、村管理漁港の机漁港と平井賀漁港の災害復旧工事を昨年度に続き実施するほか、平井賀地区の防潮堤工事にも着手します。県管理漁港の島越漁港については、継続して災害復旧工事が進められるほか、漁港機能復旧事業での人工地盤工事、海岸災害復旧事業として防潮堤工事が計画されており、その中で松前川の水門整備に着手することになっていきます。

県事業の明戸海岸の防潮堤工事も着手することになっていきます。



防災訓練などと組み合わせ多  
重防災型地域づくりを推進

居者の負担軽減を図るとともに、村も独自の支援策を講じたいと考えています。

生活再建のためには就業機会の確保も不可欠なことから、25年度においても国の緊急雇用事業を活用し、総事業費1億1千万円余りを確保して、震災によって離職を余儀なくされた方々や本格的な漁業再開までの間の生活再建の足がかりとするため、臨時的な就業機会の創出を図ってまいります。生業にかかるとる水産業の再生については、24年度に養殖ワカメの初水揚げがあり、地域によっては漁業者の共同による作業が行われ、就業の場の創出ができたところです。これまでも漁業の振興のため、漁業協同組合を通じ支援を行ってきました。今後も継続的な支援を通じて、早期に水産業の復興が図られるよう重点的に施策展開を図る考えです。



震災後初となった養殖ワカメの水揚げ  
(平成24年3月28日、ボイル作業の様子)

未来復興

2

生活再建

未来に向けた復興の根幹を成すものは、まずもって被災された方々の生活再建です。

安全な地域への定住を促進し、生活再建の将来設計を描くための条件整備を進めることが、私に課せられた使命であるとの認識の下に、これまであらゆる手立てを講じて国の補助事業採択に努めてまいりました。

島越「松前沢」地区の住宅移転用地は造成工事が仕上げの段階となったことから、まもなく災害公営住宅の建設工事を行うこととしています。「白池峠」「記念林」「黒沢山」については、いずれも25年9月末には宅地造成工事を終了させ、順次、自力再建用地の分譲などの対応をしたいと考えています。

併せて、災害公営住宅については、松前沢地区は8月の下旬、他の3団地については年内の12月下旬までに順次整備を行い、年内に入居が可能となるよう事業の促進を図ります。スピード感ある対応によって一日で



仕上げ作業が進む松前沢の住宅移転用地造成  
8月上旬には災害公営住宅を完成させる予定

も早く、より良い環境に身を置き、心身をリフレッシュさせ、生活再建に向けた力強い立ち上がりの再出発ができるよう支援していく考えです。また、国などの制度である被災者住宅再建支援事業や生活再建住宅支援事業、特別家賃低減事業などによって、住宅取得や災害公営住宅入

未来復興

3

地域振興

地域の人口減少や高齢化、地域を引っ張るリーダー不足などの要因により、地域によっては地縁活動や自治会活動に支障が生じてきている状況が見られます。これに対処するため、私はかねてから、住民・行政・議会の3者の役割と責任、そして協働の考え方を定着させる必要があると考え、その施策を総合計画に盛り込み、むらづくり基本条例の制定や協働のむらづくりを展開してきました。

今後とも、地域の総意に基づく自主的な活動を支援するとともに、より行政支援が必要な事案については、地域振興の主体は地域住民であることと踏まえながら、地域の意向に沿った形で地域活力の維持向上を支援してまいります。

特にも、震災によって地域住民の居住が分断された島越と羅賀地区については、被災前と同様の地域活動ができるよう、それぞれ地区コミュニティセンターの整備を行うとともに、コミュニティ再生のための施策を講じていく考えです。併せて、大学と連携を図りながら、



震災前と同様の地域活動ができるよう、島越と羅賀にコミュニティセンターを整備 (写真は昨年の羅賀みなとまつり)

各自治協議会などが22年度末に策定した「地域づくり計画」の中間評価と、震災によって地域事情が大きく変化した「地域づくり計画」の見直しに着手したいと考えています。これらの施策展開を通じて自治会や各種団体などの活動に弾みがつき、地域振興が図られるよう誘導してまいります。

予算編成の方針

本年1月に国から示された平成25年度の地方財政計画では、一般財源総額は59兆7526億円、前年度比0.7パーセントの増となっており、引き続き前年度を下回らないよう確保されたところです。しかし、社会保障関係費の大幅な自然増や地方の借入金残高が大きく見込まれるなど、地方財政を取り巻く環境は、いまだ予断を許さない状況にあります。

そのような中、地方交付税の総額は過年度分の精算などにより、17兆624億円、前年度比2.2パーセントの減となっており、別枠として計上される震災復興特別交付税も6198億円、前年度比9.6パーセントの減となっています。

このような厳しい地方財政状況下にあつて、本村の新年度予算編成にあたっては、事業効果、効率性、政策の優先度などを総合的に勘案しながら、被災者の生活再建対応策を最優先とし、「東日本大震災田野畑村災害復興計画」と「田野畑村総合計画」を実現するための事業を厳選した予算編成を行いました。

【単位：万円】

■平成25年度の予算規模（全会計）

区分	25年度	24年度	増減	伸び率		
一般会計	207億4000	125億2400	82億1600	65.6%		
特別会計	国民健康保険会計	事業	5億5184	5億4375	809	1.5%
		直診	1億4441	1億5634	-1192	-7.6%
	簡易水道会計	11億8307	1億6008	10億2299	639.1%	
	集落排水会計	6億9481	6億6108	3373	5.1%	
	下水道会計	3839	3585	254	7.1%	
	介護保険会計	事業	4億7053	4億9177	-2125	-4.3%
		サービス	279	339	-60	-17.6%
	後期高齢者医療会計	3069	2803	265	9.5%	
	小計	31億1652	20億8028	10億3624	49.8%	
	合計	238億5652	146億428	92億5224	63.4%	

※端数処理の関係で数値に若干の差があります

主

要施策の展開

以上申し述べてまいりました「未来に向けた復興」と「予算編成の方針」を中心に、25年度の村政運営の主要施策の展開にかかる基本方針について申し述べます。

主要施策 1

地域産業の振興



農林水産業振興の他、机浜番屋群の再生、化石層や津波遺構を活用したジオツーリズム推進など体験型観光の再興にも努める

特に大震災発災以降、経営が著しく不振となっている村内各種産業の復興を図るため、既存の補助事業と併せ、新たに村独自の制度を創設し、継続して総合的な経営支援を行っていく考えです。

水産業の振興については、新年度に鮭ふ化場と魚市場を再整備することと併せて、各種の事業を重点的に継続的に展開することによって、漁業者や漁業協同組合の経営意欲が減退することなく、震災前の経営が早期に達成できるよう支援していくとともに、国、県の施策を注視し柔軟に対応していく考えです。農業振興については、園芸作物栽

培のための施設整備や出荷経費に対する継続支援を図ります。畜産、酪農振興については、新規に和牛繁殖導入事業といわて型牧草地再生対策事業に取り組みほか、継続事業として酪農家や肉牛飼養農家に対する伝染病予防対策経費の助成や牧草地の土壌調整にかかる経費の支援などを図ります。林業振興については、原発事故後の風評被害などにより、しいたけの販売価格が暴落し、厳しい経営を余儀なくされていることから、しいたけ生産者に対する経営補助を強化したいと考えています。

商工・観光振興については、仮設店舗などの運営管理や中小企業被災資産復旧支援事業の実施、観光交流物産施設の有効活用と教育旅行誘致支援事業によって、児童生徒の防災学習や修学旅行の観光誘致を図ります。また、被災した机浜番屋群の再生整備や海岸線の化石層・津波遺構を観光素材としたジオツーリズム推進事業などを積極的に展開することによって、交流・滞在・体験型観光の再興に努めます。

島越駅前広場の造成と駅舎の再建については、26年4月の三陸鉄道の全線復旧に向けてその整備促進に努めます。

主要施策  
2

保健福祉の充実

特定健康診査や各種がん検診などを実施するほか、各種予防接種、全村民に対するインフルエンザ予防接種などの無料化、シルバーサポーターによる家庭訪問、まごころ宅配などの事業を継続実施します。

併せて、被災された方々への支援対策として、仮設住宅集会所に相談支援員をそれぞれ配置して相談業務

にあたるとともに、保健師などによる心のケアや家庭訪問などの活動を通じて、健康状態の把握や相談、生活不安の解消が図られるよう引き続き努めます。

なお、地区の集会施設が被災した自治協議会などの事情も考慮し、新年度は全村対象の「敬老会」を開催し、地域振興や村勢発展に尽力され

た高齢者の方々に敬意を表したいと考えています。

児童福祉については、保育料無料化や乳幼児・児童生徒の医療費の無料化、若桐保育園に併設して実施している地域子育て支援センターの運営など、従来の事業を継続して実施します。

また、共働きなどにより留守家庭となる放課後児童対策として、たのはた児童館で小学校1年生から3年生までの対象児童を受け入れる「学童保育」を実施します。

主要施策  
3

社会資本の整備

2月10日に三陸北縦断道路尾肝野トンネルの貫通式が執り行われました。本道路は自動車専用道路で沿岸域の交通利便性を大きく向上させるとともに、災害発生などの有事の際の避難や外部からの支援などにかかる防災道路としての意味合いも有する待望の高速道路で、新年度内の供用開始が待たれるところです。

村道整備については、新年度も引き続き、村道沼袋田代線と沼袋三沢線の改良舗装事業の進捗を図ります。上下水道整備については、羅賀および田野畑浄水場と切牛簡易水道施設の改修などを行うほか、島越および羅賀地区の下水道の復旧整備などを実施します。

情報通信基盤の整備については、



本年度は全村対象の敬老会を開催し、高齢者の皆さんに敬意を表す(写真は22年度はつらつ交流会)



マレットゴルフの管理棟やコースは本年度中に完成予定

地上デジタル放送の視聴環境を改善するため、北山および七滝地区の対象世帯で設立した自主共聴施設組合に対し、国の助成を受けて新年度の早い時期に工事着手できるように支援します。また、震災に伴い新たに発生した携帯電話の通信不感地帯の対応については、順次改善されてきておりますが、他の不感エリアの解消

と併せて、総務省や通信事業者を通じて早期対応が図られるよう継続して働きかけます。

3月1日から村内の一部地域で、通信事業者が自主事業により超高速インターネット(光)の接続サービスを開始しました。今後、村内全域で活用できる方策を検討したいと考えています。

主要施策  
4

教育の振興

東日本大震災から2年が経過し、教育環境がだいぶ落ち着いてきていることから、24年度に増して学校教育や社会教育などの施策の充実に取り組みます。

特に、国の教育基本法改正に伴い、市町村にも「教育振興基本計画」の策定が位置付けられたことから、25年度は「アズビィプラン21」などを見直し、村民の皆さんからの提言をいただきながら、本村の教育の在り方について教育振興基本計画を策定することとしています。

現在、県内すべての小中学校、特別支援学校で取り組んでいる復興教育ですが、より良い郷土田野畑を目

指して、子どもたちが主体的に受け止め、解決に向けてみんなで行動できる力を育成するため、小中学校と一体となって取り組みます。

また、本村は長年「ことばの教室」の設置が課題となっておりましたが、ようやく県の基準に達したことから、新年度から「ことばの教室」を設置して専門の指導者による指導を開始することとしています。

多方面から「子どもたちの基本的な生活習慣が憂慮される」との声があることから、学校と家庭、保護者、地域、教育行政が一体となって、子どもたちの望ましい生活習慣について考え、身に着くような取り組みを

したいと考えています。

いじめや体罰が社会問題化していますが、どちらにしても許されるものではありません。日頃の指導を強化するとともに、万一そういう事態が生じた場合には、適切に指導、対応します。

社会教育、社会体育などは、村民の方々が喜んで活動に参加できるように施策を工夫し、本村教育の一層の充実を図りたいと考えています。

村民の生涯スポーツとして取り入れているマレットゴルフは、管理棟やコースなどを25年度中に完成させ、各種大会を開催して、村民への普及・拡大を図っていく考えです。



**結**  
び

以上、未来に向けた復興および主要施策の概要について申し述べましたが、これらに要する25年度の予算総額は、かつて経験したことのない大型予算となりました。

一般会計で207億4000万円、特別会計を含めた全会計では238億5652万円となり、前年度当初予算比63・4パーセントの増となったところです。これは震災関連事業費が大幅に伸びたことなどによるものです。

引き続き健全な財政運営と村民福祉の向上を目指しながらも、震災からの早期復興を目指した大胆な予算編成を行ったところです。事業実施にあたっては、予算の節減を図りながら、最大の行政効果が図られるよう努めます。

これまで述べてまいりましたとおり、新年度に取り組むべき村政運営の中心は震災復興対応です。大型予算の編成に伴う多くの復興関連事業を推進していくことはもちろんのこと、

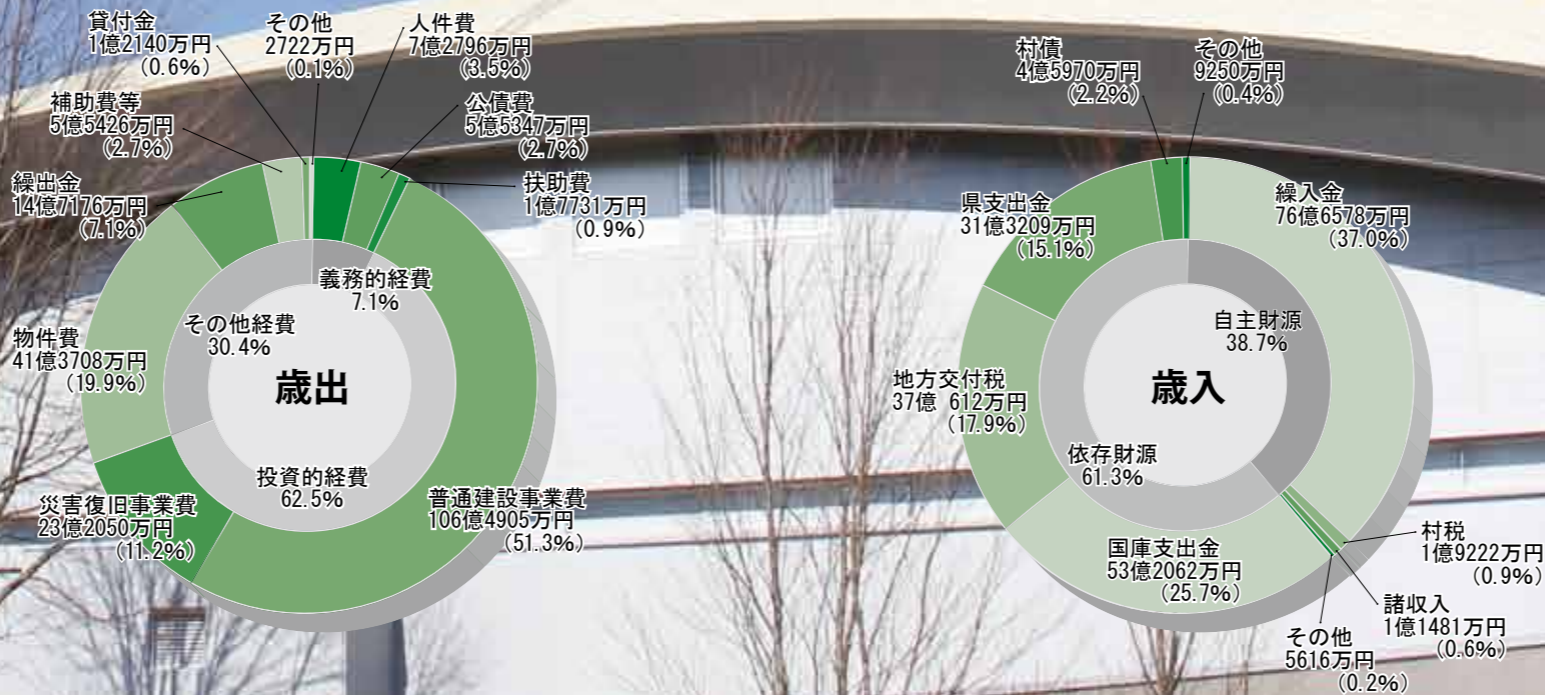
その時々行政が担うべき少子高齢化対策や産業振興、保健・医療・福祉、教育の充実など、多岐にわたる分野についても事業を継続発展的に展開します。

震災からの復旧・復興にあつては、村においては職員体制が不十分であること、また、現場においては資機材や作業員不足などの新たな課題が発生しておりますが、田野畑村の将来を見据えた着実な村政発展の礎を築いていくため、この難局に対処すべく全力で取り組んでまいります。

なお、今議会に行政組織の一部を再編する「課設置条例」の改正案を提出しています。これは、職員体制が充分でない中にあつて、県内外の自治体から本村に派遣された職員を含めた村職員一丸となって、効率的な行政執行を図ろうとするものです。議員各位のご理解とご支援を賜りたいと存じます。

新年度が未来に希望の持てる、住みよい村づくりに向けて躍進する年度となるよう、引き続き村民の皆様ならびに議員各位の村政運営に対するなお一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げ、平成25年度の村政運営にあたる所信の表明とします。

■平成25年度一般会計予算



※端数処理の関係で数値に若干の差があります



ルールを覚えながら試合を楽しむ参加者

## バドミントンで心地よい汗を

アズビィ健康スポーツ教室「バドミントン交流会」が3月17日、アズビィ体育館で開催されました。講師はバドミントン愛好会「羽球の会（畠山学代表）」のメンバー。経験者から初心者まで20人が参加して約3時間、心地よい汗を流しました。小中学生の子どもと一緒に参加した東崎はるみさん（39）＝浜岩泉＝は「親子でのスポーツは楽しかった。このような機会がもっとあればうれしい」と次回開催を期待していました。

◆羽球の会練習日…毎週水曜日、午後8時～9時  
アズビィ体育館

## 消防団の基礎学び有事に備え

村消防団（畠山保幸団長）の初任団員教育が3月3日、アズビィ体育館などで開催されました。本年度の入団者など20人が受講。講話や実技をとおり、消防団員の心構えなどを学びました。実技では消火用ホースの延長方法やAEDを使用した心肺蘇生法などを学んだ参加者。昨年7月に第3分団に入団した佐々木昭徳さん（29）＝巢合＝は「分からないことだらけ。いざという時がない方がいいが、その時に生かせるようにしたい」と決意を新たにしていました。



消防田野畑分署員からホースの延長方法を学ぶ初任団員



⑧卒業証書を受け取る姿は真新しい制服と真剣な表情



⑥在校生や父母に見守られ退場



⑤「お母さん、いつもありがとう」



⑦畠山厚子園長を真っすぐ見つめ卒園証書を受け取る卒園児

## 巣立ちの春

厳しい冬が過ぎ、今年もやってきた巣立ちの季節、3月。村内でも数々の思い出を胸に、村の子どもたちが新たなステージに旅立ちました。

写真

- ①②…田野畑中学校（12日・卒業生46人）
- ③④…たのはた児童館（16日・卒園児17人）
- ⑥⑧…田野畑小学校（19日・卒業生31人）
- ⑤⑦…若桐保育園（23日・卒園児7人）



①これまでの感謝を込めて「旅立ちの日に」を合唱



④卒園証書を両親に手渡し



③卒園児が「楽しかった思い出」「小学校で頑張りたいこと」を呼び掛け



②感謝を込めて手紙を保護者へ

# お知らせ

## 村漁協で臨時職員を募集

村漁業協同組合では、次のとおり臨時職員を募集します。

- ◆募集職種・人数…業務課全般・1人
- ◆応募資格…普通自動車運転免許を有する人
- ◆給与など…当組合規定による
- ◆加入保険…雇用、労災、健康、厚生
- ◆勤務時間…午前8時30分～午後5時
- ◆応募期限…4月20日(土)  
※応募状況により期限前でも締め切ることがあります
- ◆応募方法…履歴書(写真付き)を提出してください(郵送可)。後日、面接の日時などをお知らせします
- ◆応募・問い合わせ先…田野畑村漁業協同組合(〒028-8403 田野畑村羅賀192-3 旧羅賀小学校 ☎33-2311)

## 住宅用火災警報器の設置を

住宅用火災警報器の設置が、平成23年6月1日に義務化されました。しかし、全国的に設置がなかなか進みません。火災を早期発見するため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

- ◆届け出…設置した人は、田野畑分署に届け出てください。来署するほか、電話やFAXでも届け出が可能です
- ◆その他…消防署は、警報器や消火器などの訪問販売は行っていません。悪質な訪問販売には十分注意してください
- ◆届け出・問い合わせ先…消防田野畑分署(☎34-2100、Fax34-2354)

## 公社で臨時職員を募集中

- ◆募集職種・人数…長嶺牧野の管理、給餌など・1人
- ◆応募資格…普通自動車運転免許を有する人
- ◆給与など…当社規定による
- ◆加入保険…雇用、労災、健康、厚生
- ◆勤務時間…午前8時30分～午後5時30分
- ◆応募期限…4月15日(月)  
※応募状況により期限前でも締め切ることがあります
- ◆応募方法…履歴書(写真付き)を提出してください(郵送可)。後日、面接の日時などをお知らせします
- ◆応募・問い合わせ先…(株)田野畑村産業開発公社(〒028-8401 田野畑村尾肝要39-1 ☎34-2080)

## 障がい者スポーツ大会に参加を

岩手県と岩手県障がい者社会参加推進センターでは、「第14回県障がい者スポーツ大会」を開催します。参加を希望する人は申し込んでください。

- ◆日時…6月1日(土)  
午前9時～午後3時30分
- ◆場所…岩手県営運動公園ほか
- ◆対象者…満13歳以上(4月1日現在)の県内に居住している身体・知的・精神障がい者
- ◆種目…陸上(トラック、跳躍、投てき)、水泳、アーチェリー、卓球、サウンドテーブルテニス、フライングディスク、ボウリング
- ◆申込期限…4月10日(木)
- ◆申し込み・問い合わせ先…保健福祉課(☎33-3102)

## 小中学生の医療費を助成中

村は、就学前乳幼児の医療費助成に加え、小中学生の自己負担分医療費も助成しています。

- ◆対象…小学生、中学生
- ◆助成期間…就学時から15歳に達した年度の3月31日まで
- ◆対象医療機関…保険医療機関、保険薬局
- ◆給付方法…医療機関の窓口でいったん医療費の自己負担分を支払った後、役場に申請
- ◆申請方法…医療費(一部負担金)の領収書、健康保険証、金融機関の口座番号(保険者名義)、印鑑を持参。役場生活環境課で所定の用紙に必要事項を記入して申請。数カ月分をまとめて、なるべく1カ月ごとに申請してください
- ◆申請・問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線25)

4月になり、新小学1年生のバス通学が始まります。バス停付近を車で走行するときなど、子どもの動きに気を付けて走行をお願いします。

- ◆バスに関する問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線61)

## 広報に求人情報を載せませんか

広報たのはたに、村内企業などの求人情報を掲載しませんか。掲載は無料。詳しい内容は担当課に問い合わせてください。

- ◆申し込み・問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線62)



## 予防接種を無料にしています

- おたふくかぜ・水痘
- ◆対象…満1歳以上就学前までの未接種・未罹患者
- ◆接種日時…毎週火曜日(祝日除く)の午後4時～4時30分
- 高齢者用肺炎球菌
- ◆対象…満65歳以上の慢性疾患患者で、過去5年以内に予防接種を受けていない人
- ◆接種日時…月～金曜日(ただし水曜日午後と祝日除く)の午前9時～11時30分、午後2時30分～4時
- 共通事項
- ◆予約…希望日の1週間前までに診療所(☎33-3101)に予約
- ◆その他…無料は1人1回
- ◆問い合わせ先…保健福祉課(☎33-3102)

## 国民年金保険料は前納がお得

国民年金保険料は、1年分や一定期間分を前もって納めると割り引きされ、とてもお得です。納付案内書は4月上旬に皆さんに届きます。前納用の納付書も同封されていますので、利用してください。平成25年4月分から、保険料の月額が15,040円に変更になりますので注意してください。

- ◆前納期限…4月30日(火)
- ◆問い合わせ先…宮古年金事務所(☎0193-62-1963)

## 固定資産課税台帳を縦覧

固定資産税の課税の基になっている「固定資産税課税(補充)台帳」を縦覧します。土地売買や家屋を取り壊した場合、台帳の内容が訂正されていないと、誤って課税してしまうことがあります。忘れずに確認をお願いします。

- ◆期間…4月1日(月)～30日(火)(土日祝日を除く)
- ◆時間…午前9時～午後5時
- ◆場所…役場税務会計課
- ◆問い合わせ先…税務会計課(☎34-2112 内線31)

## 放射性物質濃度検査全箇所が目安以下

### ◆検査結果(測定日・3月13日、15日)

測定場所	平均測定値 (3メートル/時)
田野畑小学校	0.070
田野畑中学校	0.057
たのはた児童館	0.055
若桐保育園	0.052
役場	0.082
アズビィ楽習センター	0.075
村宮野球場	0.055
思惟大橋公園	0.051
北山崎園地	0.072
山海ろばたハウス	0.097
鶯の巣断崖園地	0.067

- ◆調査結果…文部科学省による校庭、園庭の空間線量率目安(1時間当たり1マイクロシーベルト)を下回りました
- ◆問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線20)

人口と世帯	火災
3月1日現在( )は前月比	(2月21日～3月21日)
人口 3,807人(-11)	火災の【今月】 1件
男 1,875人(-6)	発生件数【今年】 1件
女 1,932人(-5)	無火災の連続記録
世帯 1,440世帯(+1)	(3月21日現在) 11日

## 日本脳炎予防接種を無料で

日本脳炎の定期予防接種を受ける機会を逃した人(平成7年4月1日から19年4月1日までに生まれた人)は、予防接種を無料で受けることができます。希望する人は予約してください。

- ◆対象者…接種日現在、満4歳以上20歳未満
- ◆接種日時…毎週火曜日(祝日除く)の午後4時～4時30分
- ◆予約…希望日の1週間前までに診療所(☎33-3101)に予約
- ◆問い合わせ先…保健福祉課(☎33-3102)

## 自衛隊で幹部候補生を募集

自衛隊では、幹部候補生を募集しています。詳しい内容は問い合わせてください。

- ◆種目
  - ①一般・技能幹部候補生(飛行要員含む)…22歳以上26歳未満
  - ②歯科・薬剤科幹部候補生  
歯科…20歳以上30歳未満  
薬剤科…20歳以上28歳未満
- ◆申込期限…4月26日(金)
- ◆申し込み・問い合わせ先…自衛隊宮古地域事務所(☎0193-63-3881)

## 4月の無料法律相談

- ◆期日…4日(木)、11日(木)、18日(木)、20日(土)、25日(木)
- ◆時間…午前10時～午後3時
- ◆場所…宮古市役所
- ◆申し込み…宮古市市民相談室(☎0193-62-2111)

# 人事異動

村職員などの人事異動をお知らせします。村は、復興を最重要課題として取り組むために組織を一部改革。地域整備課を廃止し、建設第一課と建設第二課を新たに設置。税務課と会計課を統合し税務会計課としました。

## 村職員

- ◆**参事**  
参事兼建設第一課長―**鍬形金由**、  
参事兼保健福祉課長兼診療所事務局長兼  
歯科診療所事務局長―**穂高正実**
- ◆**総務課**  
課長―**佐藤俊一**、総務・財政班主查  
―**佐々木賢司**、同主任―**大澤広美**
- ◆**政策推進課**  
政策推進班主查―**佐々木和也**
- ◆**復興対策課**  
課長―**久保豊**、主幹―**佐々木靖**、  
復興対策班主查―**佐藤智佳**、同主事  
―**前川恵美**
- ◆**税務会計課**  
―**前川恵美**

会計管理者兼課長―**下机美枝子**、  
税務・会計班主任主查―**石原弘**、同主  
査―**菊地正次**、**佐藤和子**、同主事  
―**金子和也**

## ◆生活環境課

課長―**畠山淳一**、生活環境・国保介  
護班主任主查―**畠山哲**、同主任―**晴**  
**山美恵子**、同主事―**畠山多加子**

## ◆若桐保育園

園長―**鈴木康子**

## ◆建設第一課

主幹用地対策室長―**熊谷吉秀**、道路・  
上下水道班主查―**早野和彦**、同主任  
兼建設第二課漁港・住宅班主任―**横山**  
**順一**、道路・上下水道班主事―**工藤**  
**真樹**、同技師―**坂本大**、**工藤光昭**、  
**角館尚**

## ◆建設第二課

課長―**佐々木卓男**、漁港・住宅班技  
師―**小向啓太郎**

## ◆産業振興課

課長―**畠山恵太**、産業振興・水産振  
興班主任主查―**工藤隆彦**、同主任―  
**大澤健**

## ◆保健福祉課

保健福祉・包括支援センター班主事―  
**佐々木潤**

## ◆診療所

管理班主任主查兼歯科診療所管理班主

任主査兼保健福祉課保健福祉・包括支  
援センター班主任主査―**大上高広**

## ◆教育委員会事務局

教育次長兼学校給食センター所長―**大**  
**澤喜男**、総務・学校教育・社会教育  
班主査―**畑山正明**、同主事―**坂本**  
**郁子**

## ◆退職者

※職名は退職時  
参事兼総務課長―**中嶋喜和男**、生活  
環境課長―**畠山正**、産業振興課長兼  
水産復興室長―**大澤俊一**、診療所主  
査―**穂高吹子**、教育次長兼給食セン  
ター所長―**工藤ヒロ**、社会福祉協議  
会派遣(若桐保育園長)―**畠山厚子**

## ◆新採用

復興対策課復興対策班主事―**稲坂雄**  
**太**、診療所診療班看護師―**武田律子**  
**◆新採用(任期付き)**  
打座博文、石井充伸、辻村秀勝  
工藤聖也、小野寺祥史、弥藤勇

## 広域消防

異動転出者  
カッコ内は異動先  
副分署長―**和山康弘**(退職)  
消防第三係長―**笹原正**(山田消防署)  
消防主任―**三浦善範**(宮古消防署)  
消防主任―**竹田泰寛**(新里分署)  
消防士長―**植村英治**(岩泉消防署)  
消防士―**泉山勇太**(退職)

## 教職員

### ◆田野畑小

校長―**早川幸男**(岩手町立一方井小)  
教諭―**則竹久美子**(岩泉町立大川小)  
教諭―**金子裕輔**(盛岡市立厨川小)  
主任学校栄養職員―**坂本順子**(退職)  
講師―**尾形桃子**(岩泉町立小本小)  
すこやかサポーター―**倉本恵**(岩泉町  
立岩泉小)

### ◆田野畑中

校長―**佐々木幸彦**(花巻市立西南中)  
教諭―**山口稔徳**(宮古市立第一中)  
教諭―**伊藤孝義**(平泉町立平泉中)  
教諭―**鈴木玲子**(県北青少年の家)  
教諭―**中村勝**(宮古市立河南中)  
教諭―**川原敦士**(八幡平市立西根第  
一中)  
事務主任―**山田貞悟**(久慈市立待浜  
中)

講師―**花輪忠紘**(宮古市立田老第一  
小)  
講師―**藤井紘介**(大槌町立大槌中・  
新採用)  
講師―**三浦円果**(洋野町立大野中)  
講師―**佐々木琢磨**(退職)  
特別支援教育支援員―**小野寺祥史**  
(退職)

## 「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

2572万2,016円 (3月21日現在)

444件 (村内97件、県内133件、県外214件)

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページ  
をご覧ください。総務課 (☎34-2111 内線15) までご連絡ください。

## 役立ちカレンダー

期間：4月5日(金)～4月30日(火)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
4月5日(金)	田野畑中入学式	中学校体育館	10:00～11:00	田野畑中 (☎34-2301)
9日(火)	田野畑小入学式	小学校体育館	10:00～11:00	田野畑小 (☎34-2050)
12日(金)	たのはた児童館入園式	たのはた児童館	10:00～10:30	たのはた児童館 (☎34-2331)
17日(水)	幼児健診	健診センター	13:00～15:30	保健福祉課
27日(土)	診療所休診			診療所
30日(火)	固定資産税1期、軽自動車税納期限			税務会計課 (内線31・32)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102

## はまなす号巡回カレンダー

期間：4月23日(火)～24日(水)

◆はまぎくコース (机・北山方面)

月日	場所	時間
4月23日(火)	グループホームつくえ付近	9:40～10:00
	北山地区総合センター	10:10～10:25

◆たんぼぼコース (真木沢・切牛方面)

月日	場所	時間
4月23日(火)	佐藤進氏宅付近	11:05～11:20
	望洋館	11:30～11:45

◆おきなぐさコース (沼袋・甲地方面)

月日	場所	時間
4月24日(水)	産直プラザ肝要	9:45～10:00
	山栄会リアス倶楽部付近	10:10～10:40
	甲地公民館	10:50～11:05

◆問い合わせ先…教育委員会 (☎34-2226)

## はまなす 掲示板

## 広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、  
役場政策推進課(4月22日まで)  
にお送りください。正解者の中  
から抽選で5名様にプレゼント  
が当たります。

- Q1 田野畑小学校の新1年生25  
人。一番多い将来の夢は?  
A) ケーキ屋さん  
B) サッカー選手
- Q2 平成25年度の一般会計予  
算額は?  
A) 207億4000万円  
B) 238億5652万円

■前号(3月号)の正解  
Q1→B、Q2→B  
■当選者(敬称略)  
熊谷正初(田野畑)、上山明美  
(田野畑)、田子内美和子(羅  
賀)、熊谷タマ(花巻市)、中  
村志会之助(埼玉県)

## おめでた おくやみ

[平成25年2月届け出分]  
(一部敬称略)

●**健やかに ～誕生～**  
金子 音羽(おとは)ちゃん  
裕輔・恵 沼 袋

■**安らかに ～お悔やみ～**  
菊 地 義 一(76) 沼 袋  
奥 地 キ 子(84) 板 橋  
上 山 タ ネ(85) 北 山  
畠 山 太 子(73) 田野畑  
佐々木 吉三郎(85) 甲 地  
中 村 静 子(89) 羅 賀  
佐 藤 トヨノ(90) 猿 山

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出  
のとき、戸籍係の窓口申し出て下さい

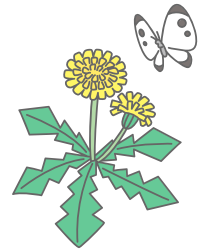


島山 <sup>ゆうな</sup>夕奈ちゃん (1歳2カ月)  
竜也さん・智恵子さん=菅窪=

お母さんからのひとこと

最近歩けるようになり、家の中などをグルグルと歩き回っています。怖いもの知らずで、犬にちょっかいを出したりも。元気で優しい子に育ってね。

わが家の  
アイドル



三浦 <sup>あやね</sup>綺音ちゃん (1歳4カ月)  
昌樹さん・歩子さん=島越=

お母さんからのひとこと

おばあちゃんとお絵かきしたり、手を引っ張って連れ回したりして遊んでいます。勉強できなくても伸び伸び明るく、思いやりのある子になってね。



編集こぼれ話

東日本大震災発生から2年。皆さんにとつて、どんな月日だったでしょうか？ 時間の感じ方はそれぞれ違うと思いますが、私たち全員が「復興した」と感じられる日が1日も早く訪れることを祈っています▼広報4月号のこの欄には毎年、涙の話題を書いてまいります。「泣かない」と心に決めていても、3月も取材先でたくさん感動の涙を流してしまいました。小学校卒業生の真新しい制服姿、涙をこらえながら合唱する中学校卒業生、卒園証書を受け取る卒園児たちの真剣なまなざし。さまざまな場面に感動し、涙でした▼感動できる人間であるのはうれしいことですが、その感動を皆さんに伝えることがなかなかできない私。新年度は、その場の様子が皆さんに伝わるような広報にしていきたいと思います。ということで、広報担当6年目突入が決定！ 皆さんのご協力がなければ発行できないのが「広報たのぼた」です。これまで通り、これまで以上に取材へのご協力をお願いします。(政策推進課 佐々木和也)